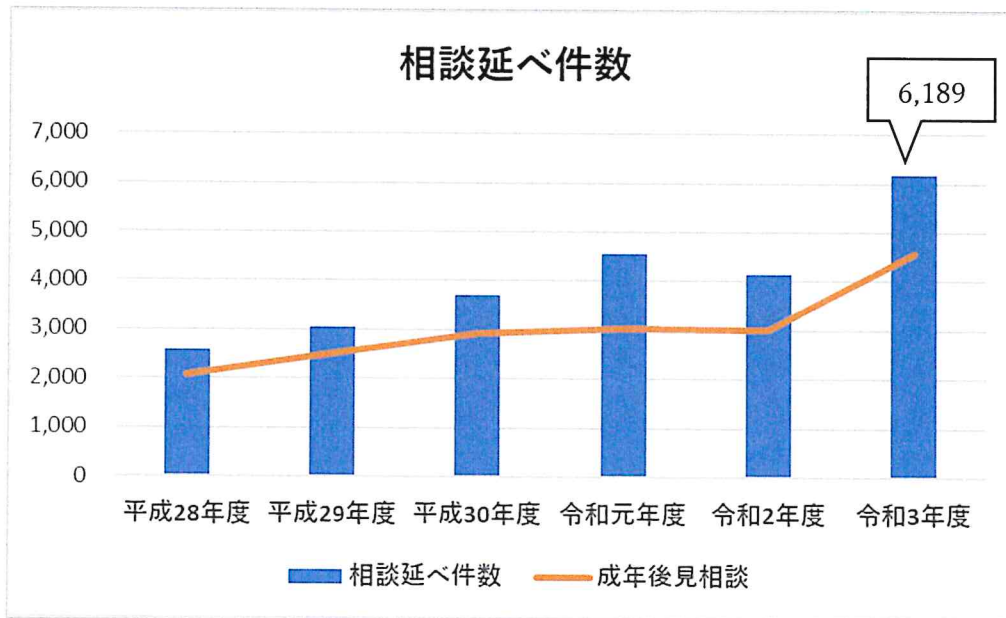


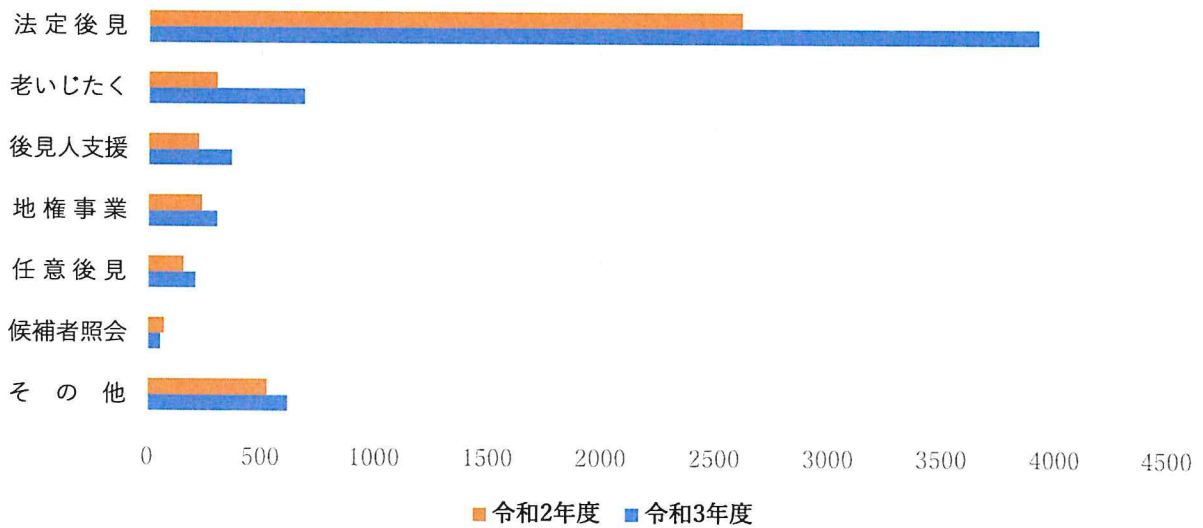
おおた 成年後見センター

- (1) 令和3年度相談実績数
- (2) 中核機関について
- (3) 老いじたく相談

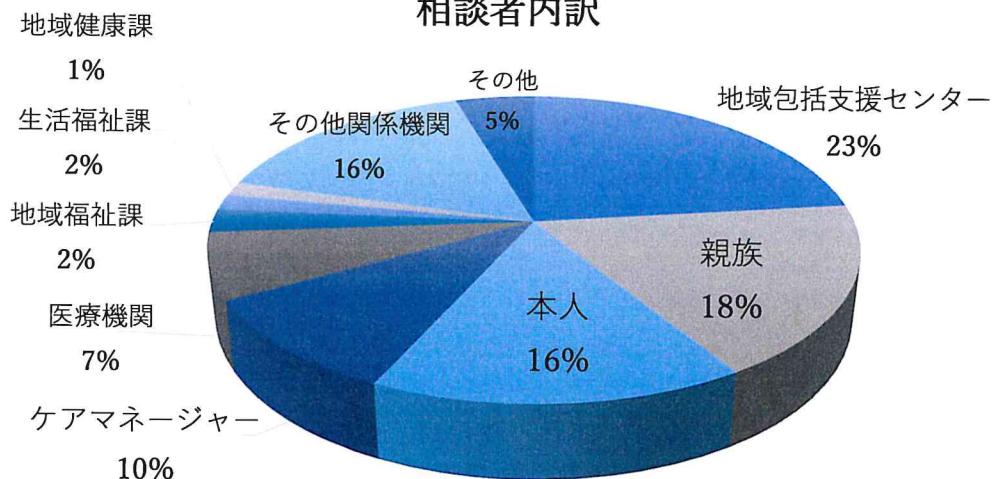
令和3年度おおた成年後見センターにおける相談実績と傾向



相談内訳



相談者内訳



本日の内容

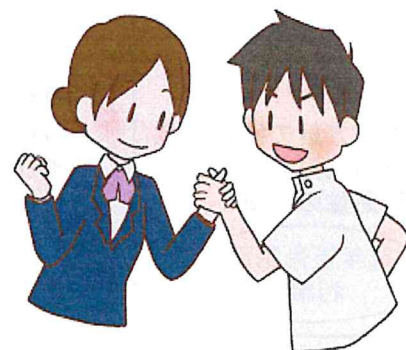
1. おおた成年後見センター（中核機関）の
主な取り組み
2. 老いじたく事業
3. 「親なきあと」への取り組み



おおた成年後見センター

「大田区成年後見制度利用促進中核機関」として

成年後見制度について正しい理解啓発に努める等、
制度の利用を必要としている方に
きちんと支援が届くよう、
関係機関や専門職等と
連携しながら取り組みました。



1. おおた成年後見センター（中核機関）の主な取り組み

おおた成年後見センター（中核機関）の実践

*大田区成年後見制度利用促進基本計画に基づき、令和2年度から大田区とともに実施。

1. 成年後見制度の 周知・啓発

- ・ 広報誌等様々な媒体を活用した普及啓発
➡ ※厚労省『成年後見はやわかり～障がいの
ある方や認知症の方における補助の活用編～』
動画制作に被補助人とともに協力
- ・ 出前講座への職員派遣



2. 市民後見人の 育成・支援

- ・ 養成講習（基礎講習・実務実習）の実施
- ・ 市民後見人交流会の開催

3. 親族後見人への サポート

- ・ 親族後見人定期報告時支援
- ・ 親族後見人交流会の開催



4. 制度利用の支援

- ・ 権利擁護支援検討会議の実施
- ・ 福祉従事者向け研修の開催
➡ 内容：成年後見制度の基礎、意思決定支援

1. おおた成年後見センター（中核機関）の主な取り組み

権利擁護支援検討会議（開催回数11回 相談件数16件）

専門職による多角的な視点で、本人の権利擁護に係る支援方針や意思決定支援、チーム支援のあり方等について、支援チームが助言を得る場。

支援方針や成年後見制度の必要性、支援方法に迷ったときなどに活用。

◆権利擁護支援を行う3つの場面◆

権利擁護支援の 検討に関する場面

- ・ アセスメント
- ・ 支援方針の検討
- ・ 制度利用の必要性
- ・ 緊急性の判断

成年後見制度
利用前

成年後見制度の 開始までの場面

- ・ 予想される後見事務
の整理
- ・ 申立て類型の検討
- ・ 受任者調整

申立の準備から
後見人の選任まで

成年後見制度の利用 開始後に関する場面

- ・ モニタリング
- ・ 支援チームの再検討
- ・ 成年後見人等の交
代の検討

後見人等選任後

本人の視点に立って
案件を整理し、
チーム支援のあり方
を確認することができます。



1. おおた成年後見センター（中核機関）の主な取り組み

<相談例>

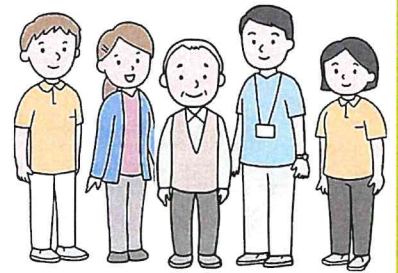
60代・男性、知的障がいがあり、ピック病を患っている。

日常生活を送るうえでの動作に問題はなく、一人で外出もできているが、生活支援の必要がある。また、金銭管理が行えないことからトラブルや債務があるが、本人は困っているとは感じていない。

◆専門職からの助言◆

後見申立ての必要あり。

このケースはチーム支援が必要であり、候補者についても連携の取れる専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士等）や法人後見も想定しながら検討するとよい。



5

2. 老いじたく事業

パンフレット第2弾 デザインする 自分らしい老いじたく

- 昨年発行した「老いじたくパンフレット」の第二弾となる、詳細版を発行。これから老いじたくを始めようとする方向け。（累計発行部数8,000部）
- 地域包括支援センターや各地域庁舎、シニアステーション等に配布。



6

2. 老いたく事業

老いたく相談

老いたく相談、老いたくセミナーに参加された方が、次のステップに進めるよう、各分野の専門職からの助言を一度に受けられる「合同相談会」を開催

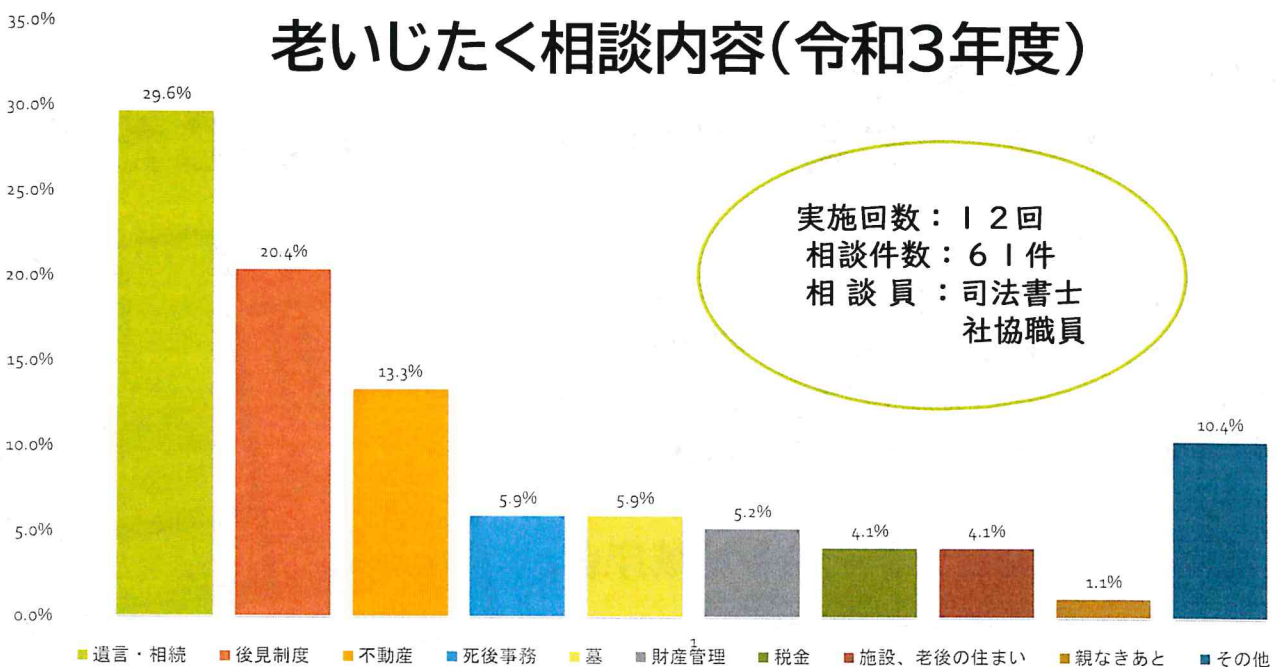
老いたく相談
月2回 開催 61名参加
※R4年度は、月4回開催

老いたくセミナー
年2回 開催 44名参加
※R4年度は、年4回開催



2. 老いたく事業

老いたく相談内容(令和3年度)



実施回数：12回
相談件数：61件
相談員：司法書士
社協職員

3.「親なきあと」への取り組み

『親なきあと講演会』

親なきあとに備えて、子どもの将来と親の老いじたくを考えられるよう、講演会を開催。（講師:弁護士 14名参加）

【感想】

- とても役にたった。個別相談会あるいは今日のような勉強会の開催を希望する。
- 声をかけていただき参考したが、一人では解決できないので参加できてよかった。



